

# 森が豊かな海を育む

## アジアの水問題と地球環境～日本企業の役割を考える～

現在日本は、多くの食料を海外からの輸入に依存しています。平成23年度における日本の食料自給率は、生産額ベース66%・カロリーベース39%で、海外の農産物が必要不可欠です。これを「水」という視点から考えると、生産に必要な水を海外で相当量の水を使用しています。この水を「バーチャルウォーター＝仮に日本国内で生産するとした場合に必要水の量」と呼び、その量は約800億㎡にのぼっています。この水量は、日本国内で使用される年間水使用量とほぼ同じで、水資源の豊かな国といわれる日本でありながら、世界の水を大量に輸入しているのです。水は、実は森で作られています。その水は陸地の川を通して、海に流れつきます。農地、そして漁場には、豊かな水が必要なのです。豊かな水があってこそ、優れた農産物、そして魚が育まれるのです。そのためには森を守る必要があります。このセミナーでは、森と川と海のメカニズムを検証し、あるべき自然のサイクルの姿をみながら考え、世界の環境保全への理解の創出をします。

日時 **10月29日(火)** 13:00～17:00  
(受付開始12:30～)

定員 **400名**  
参加費無料  
事前申し込み制(先着順)

会場 **ホテルエルセラーン大阪 エルセラーンホール**  
大阪市北区堂島1丁目5番25号

### 特別講演

#### 今こそ「森を、川を、海を想う」時



平成元年から漁民仲間と落葉広葉樹を植える「森は海の恋人」運動を始め、今年で23年を迎える畠山さん。環境に対する理解を養殖業の立場から、かけがえのない自然環境について森と川と海の関連性を分かりやすく語っていただきます。

**畠山 重篤氏**  
(水山養殖場代表取締役、  
京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授)

### 基調報告

#### 「わたしの自然日記2013」



**C.W.ニコル氏**  
(作家・環境保護活動家)

ニコルさんが1988年に発表し、当時大きな反響を呼んだエッセイ「わたしの自然日記」から今年で25年。際限のない自然破壊に憤り、警鐘を鳴らしていた当時と現在を比較して、日本の自然はどうニコルさんには映っているのか。いま、自然を守り育てることに必要なことは何かを語っていただきます。

#### これからの時代に日本の森林をどう活かすか



**末松 広行氏**  
(林野庁林政部長)

国は、地域材を活用した木造住宅の新築、内装・外装の木質化、木材製品などの購入の際に、木材利用ポイントを発行し、地域の農林水産物などの交換などを行うことができる木材利用ポイント事業を開始しました。この制度は、地域材の適切な利用により森林の適正な整備・保全、地球温暖化防止および循環型社会の形成に貢献し、農山漁村地域の振興に資することを目的としています。この取り組みについて、内容、その意義や社会における環境保全と経済活性化につながる役割などを解説していただきます。

### パネルディスカッション

#### 「美しい水、そして海は、森から始まる」(環境をグローバルなサイクルで考える/アジア圏各国へのメッセージとして)

パネリスト 畠山 重篤氏 C.W.ニコル氏 末松 広行氏  
津田 潮氏(津田産業株式会社社長) コーディネーター/阿部 健一氏(人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 教授)

主催/公益財団法人 リそなアジア・オセアニア財団 共催/大阪府、関西経済連合会  
協力/大阪商工会議所  
後援/大阪市、日本貿易振興機構(ジェトロ大阪本部)、  
大阪府木材連合会、産経新聞社、リそな銀行、近畿大阪銀行



# 森が豊かな海を育む

アジアの水問題と地球環境～日本企業の役割を考える～

日時 **10月29日(火)** 13:00～17:00  
(受付開始12:30～)

会場 **ホテルエルセラーン大阪 エルセラーンホール**  
大阪市北区堂島1丁目5番25号

定員 **400名** 参加費無料  
事前申し込み制(先着順)

**交通案内 電車**

- JR東西線「北新地駅」より徒歩5分
- JR「大阪駅」より徒歩10分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」より徒歩5分
- 地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩8分



**[プログラム]**

|             |   |
|-------------|---|
| 13:00～13:10 | 開会あいさつ 主催者(公益財団法人 りそなアジア・オセアニア財団)   |
| 13:10～13:20 | シンポジウム趣旨説明 阿部健一氏(人間文化研究機構総合地球環境学研究所 教授)   |
| 13:20～14:10 | 特別講演/畠山重篤氏(水山養殖場代表取締役、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授)<br><b>今こそ「森を、川を、海を想う」時</b>   |
| 14:10～14:30 | 基調報告/末松広行氏(林野庁林政部長)<br><b>これからの時代に日本の森林をどう活かすか</b>  |
| 14:30～14:40 | 休憩  |
| 14:40～15:00 | 基調報告/C.W.ニコル氏(作家・環境保護活動家)<br><b>「わたしの自然日記2013」</b>  |
| 15:00～15:45 | 事例報告/3名   |
| 15:45～16:00 | 休憩  |
| 16:00～17:00 | パネルディスカッション<br><b>「美しい水、そして海は、森から始まる」</b><br>◎パネリスト<br>講演・基調報告者・3名+津田潮氏(津田産業株式会社社長)<br>※コーディネーター・阿部健一氏(人間文化研究機構総合地球環境学研究所 教授) |

インターネット又はFAXにてお申込み下さい

インターネット  
の場合

<http://www.resona-ao.or.jp>

公益財団法人 りそなアジア・オセアニア財団 宛 お申込期限:10月25日(金)

FAXの場合

**お申込みFAX番号 06-6203-9666**

**参加申込FAX用紙** ※必要事項をご記入の上、FAXでお申送ください。

ご記入いただいた個人情報、セミナーのご案内の他、各種サービスに関するご提案のために使用させていただく場合がございます。

|              |          |          |          |
|--------------|----------|----------|----------|
| 貴社名          |          | TEL      |          |
| ご住所          |          | FAX      |          |
|              |          | E-mail   |          |
| ご参加者         |          |          |          |
| 所属部署・役職名     | お名前・ふりがな | 所属部署・役職名 | お名前・ふりがな |
| 貴法人における現状の課題 |          |          |          |

**※受講票は送付しません。ご来場の際には個人の方を除いて、名刺を頂戴します。**

このセミナーをどのようにお知りになりましたか  ホームページで見て  このチラシを見て(りそな銀行より入手)  このチラシを見て(りそなアジア・オセアニア財団より入手)

お申込  
お問い合わせは

公益財団法人 **りそなアジア・オセアニア財団**

〒541-0051 大阪市中央区備後町2丁目1番1号 第二野村ビル5F  
TEL.06.6203.9481 FAX.06.6203.9666